

2025年度

自分らしく生きよう！

いきいきフォーラム

記録集



目 次

◇ はじめに	1
◇ 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム 開催概要	2
◇ 当日の様子	4
◇ チラシ「自分らしく生きよう！いきいきフォーラム」	5
◇ 講演内容	6
◇ 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム アンケート	8
◇ 性別による固定的役割分担意識チェック アンケート	16
◇ パープルリボン展	18
◇ 人権パネル展・かけはし登録団体の展示	21
◇ チラシ「パープルリボン展作品募集」	22
◇ 男女共同参画に関する川柳の展示	23
◇ チラシ「男女共同参画作品川柳募集」	25
◇ 実行委員の思い	26
◇ 実行委員会 年間の流れ	32
◇ 男女共同参画に係るキーワード	33
◇ 向日市男女共同参画推進条例	37
◇ 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員紹介	39



はじめに

普段の生活の中で、「力仕事は男性に」「繊細な作業は女性に」と、無意識のうちに性別で役割をイメージしてしまうことはないでしょうか。

こうした、自分自身では気づきにくい「男だから」「女だから」という思い込みを「アンコンシャス・バイアス」と言います。これは特別なことではなく、誰もが意識せず心の中に持っているものです。しかし、この思い込みが強くなると、時に「男のくせに」「女らしくない」といった言葉に繋がりが、その人が持つ本来の個性や可能性を狭めてしまうこともあります。

「自分らしく生きよう！いきいきフォーラム」は、その名称の通り、性別という枠にとらわれず、誰もが「自分らしく」輝ける社会を目指して活動を続けてまいりました。向日市民の皆さまお一人おひとりが、自分自身の可能性に蓋をすることなく、いきいきと暮らせるきっかけづくりとして、毎年講演会を開催しております。

本誌は、今回のフォーラムでの学びや気づきを記録したものです。この記録集に触れた皆さまの「気づき」が、固定観念を解きほぐし、より豊かな「自分らしさ」へと繋がる一助となれば幸いです。

令和8年3月

自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会

2025年度 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム開催概要

1 日時 令和7年12月6日（土）午後1時30分～3時10分

2 場所 永守重信市民会館

3 内容 講演 ダイバーシティ（多様性）と寄り添い社会

～自分ごととして捉えてみませんか～

講師 桂 雀太さん（落語家）

同時開催 パープルリボン展・人権パネル展・

男女共同参画に関する川柳の展示・かけはし登録団体の展示

4 参加者 233名

参加者アンケート回収数 141枚

優先入場券回収率 26%

（アンケートの結果は、10ページをご覧ください）



桂雀太

かつら
じゃく
た

《紹介》

桂雀太（かつらじゃくた）

奈良県五條市生まれ 五條市観光大使

関西大学 法学部を卒業 京都府京田辺市在住 二児の父

2002年 桂雀三郎に入門 弟子に桂源太がいる

「代書」「遊山船」「替り目」などの滑稽噺から

「ねずみ」「夢の革財布」など人情噺まで

古典落語を中心に幅広いレパートリーを持つ

死生観を落語のテーマに揚げ

恥ずかしがり屋の目立ちたがり屋で

独特で軽妙な語り口は聴く人を魅了する

人気・実力を兼ね備えた上方落語界の兄貴的存在

双極性障害の当事者である事を公表し

天国と地獄を行ったり来たりしているゆかいな落語家である

《受賞歴》

- 2016年 なにわ芸術祭 新人奨励賞
- 2016年 NHK新人落語大賞
- 2017年 大阪市より咲くやこの花賞
- 2018年 繁昌亭大賞 奨励賞
- 2018年 国立演芸場 花形演芸会 銀賞
- 2019年 上方落語若手噺家グランプリ 優勝
- 2020年 文化庁芸術祭 新人賞
- 2023年 喜楽館AWARD2023 優勝

《資格》

行政書士、宅建主任者

《好み》

言葉 グットタイミング
食べ物 おにぎり、お味噌汁

当日の様子

1階席がほとんど埋まるくらい多くの方にご参加いただきました。



受付や司会などの当日運営を実行委員が担当します。



パープルリボン（女性に対する暴力をなくすためのシンボル）作品、男女共同参画の川柳、人権パネルの展示、かけはし登録団体の展示、男女共同参画へのメッセージをよせたクリスマスツリー展示に多くの方が足をとめてご覧いただくことができました。



実行委員のメンバーが意見を出し合って計画し、力を合わせて当日の運営を行いました。

2025年度自分らしく生きよう！いきいきフォーラム

ダイバーシティ(多様性)と寄り添い社会

～自分ごととして捉えてみませんか～

男女共同参画社会の実現を目指して、自分らしく生きよう！

日時
12月6日(土)
午後1時30分～3時10分
(午後1時開場)

同時開催

パープルリボン展、人権パネル展、
男女共同参画に関する川柳の展示、
かけはし登録団体の展示
12時30分開場

場所
永守重信市民会館 ホール
住所：向日市寺戸町中野20番地

🚗・第1～3駐車場(50台) 有料

🚌・阪急東向日駅から徒歩約15分
JR向日町駅から徒歩約20分

定員
460名

- ・保育やマルチルームをご希望の方は、11月21日(金)までに広聴協働課へお申込ください。(満1歳～就学前)
※マルチルーム…お子様連れで観覧できません
※保育・マルチルーム希望者多数の場合、期限前に締め切る場合があります。

優先入場券

11月4日(火)からお1人5枚まで配布します。
※優先入場券をお持ちの方は、先に会場へご入場いただけます。

配布場所

広聴協働課(市役所本館3階)、
東向日別館3階、各コミセン、公民館、
女性活躍センターあすもあ、図書館、
永守重信市民会館

問合せ 向日市ふるさと創生推進部広聴協働課

☎(075)874-1409



(075)922-6587



kyodo@city.muko.lg.jp

講師 **落語家**



桂 かつら
雀太 じゃくた
さん

2002年 桂雀三郎に弟子入り。
2023年 喜楽館AWARD2023 初代王者。
双極性障害の当事者として「病との向き合い方」や「心の健康」について語る。

ファシリテータ

現役中学校教諭で、
4児の母。
先進的な包括的
性教育を推進する。
現在、自分らしく
生きよう！いきい
きフォーラム実行
委員

三鷲 みつはし
なつ美 なつみ
さん



2025年度自分らしく生きよう！いきいきフォーラム 講演内容

日時：2025年12月6日（土）

講師：落語家 桂 雀太 さん

ダイバーシティ（多様性）と寄り添い社会

～自分ごととして捉えてみませんか～

まず、このタイトルについて、今年度の実行委員会メンバーで検討した時間はとも有意義なものでした。

この活動の根本にある「男女共同参画社会」という言葉の意味から考え、迷い、これからの時代を創造する一歩となるように、人権尊重の理念から設定いたしました。特に「自分ごととして～」の部分は、どんな人でも「人生の主役は自分なのだ」と、一度きりの人生だからこそ大切にしてほしいという想いをこめました。今回のフォーラムでは、落語家・桂雀太氏が抱える生きづらさにスポットをあてつつも、「多様性とは何か？」というメッセージを発信し、このフォーラムの実行委員でもあり、現中学校教諭でもある三觜（みつはし）氏とのセッション形式のトークショーを前半60分繰り広げました。

桂雀太氏は、第1回神戸新開地・喜楽館アワード初代王者でもあり、他にもNHK新人大賞など数々の受賞で関西落語会では実力が高く評価されている落語家ですが、その一方、双極性障害の当事者でもあり、発症するたびに長期休業を余儀なくされた険しい道のりを歩んでこられました。

そんな雀太氏が、自ら双極性障害との歩みについて自己開示し、せきららにトークするも、シリアスとはかけ離れた、とても愉快でハートフルな回答で来場者の皆さんからも笑いや拍手が起き、時には「へ～」「そうだったのか～」など、合いの手まで自然と沸き起こる温かい雰囲気が終始続きました。

雀太氏は、生きづらさを抱えた人たちについて、「まわりの人は『がんばらんでいいよ』『無理したらあかんよ』と言いますがね、僕からしたらこの病が教えてくれたのは『あんたのがんばりかたを変えはったほうがええんちゃいます？』というメッセージなんですよ」と、生き方や価値観を変えるきっかけにもなったのだという前向きな考え方を話されました。

また、三觜氏からは、昨今大きく変化している多様性への価値観について「『いや』というのわがままですか？」「『男女』って分けるのはダメ？」など、来場者の皆さんにも問いかけました。答えが無いからこそ、考え続けなければならないし、正解が無いからこそ面白いのだと締めくくりました。

その後、雀太氏の落語「夢の革財布」を一席披露していただきました。これは、古典落語の演目「芝浜」を基にしており、夫の酒癖を直すために、大金を拾ったこ

とを「夢」だと言いくるめる女房の機転から、一念発起して真面目に働き、夫婦の絆を再確認する、というまさに、このフォーラムにぴったりの演目でした。

人は皆、多かれ少なかれ、生きづらさを抱えながら生きています。雀太氏が特別なわけではありません。

誰しも、不満や悲しみ、コンプレックスと葛藤しているからこそ、自分らしく生きる道しるべができるのです。

雀太氏は最後にこう言いました。「どうせ、私らみんな、いつかは死ぬんです。そう思ったらね、何でもできます」

このフォーラムが、皆さんにとって、少しでも「自分ごと」としてのお土産になってくれたらと願います。

※この講演内容は、自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会の責任で要約したものです。



- 6 これまでの5年間で、男女共同参画や人権に関する講演会・研修会に参加されたことがありますか？
 ① 今日がはじめて ② 1～2回 ③ 3～4回 ④ 5回以上
- 7 イベントに参加して、男女共同参画や人権についての関心や理解は深まりましたか？
 ① 深まった ② どちらかといえば深まった ③ 変わらない ④ わからない
- 8 向日市は個人や男女の人権が尊重された豊かな社会になっていると思いますか？
 ① そう思う ② どちらかと言えばそう思う
 ③ どちらかと言えばそう思わない ④ そう思わない ⑤ わからない
- 9 その他、お気づきの点がございましたら記入してください。

()

やってみませんか？あなたの中の「固定的性別役割分担意識」チェック

そう思うものに ^{まる}○ をつけてください。

- ① 女性が主に家事をやるのは当たり前のことだと思う。 ()
- ② 男性が洗濯物を干したり、スーパーで買い物をする姿を見かけると「気の毒」だとか「かっこ悪い」と思う。 ()
- ③ 何かをする時は、男性がリードして、女性はそれについていく方がよいと思う。 ()
- ④ 結婚後は、夫婦は夫の姓を名乗るのが自然である。 ()
- ⑤ ピンクの服を着ている子どもは女の子だと思う。 ()
- ⑥ 男性が育児休暇を取るのはおかしいと思う。 ()
- ⑦ 立場が上の人から、性的な冗談を言われても我慢するべきだ。 ()
- ⑧ 「男なんだから」「女なんだから」と日常的に思う。 ()
- ⑨ デート代の支払いは、割り勘ではなく、男性が払うほうがよい。 ()
- ⑩ 自分の性別への違和感や恋愛対象の性別等に悩みを持っている人(LGBT)を理解できない。 ()

10の項目での ^{まる}○ の数は、いくつありましたか？ (個)

「男らしさ」「女らしさ」で区分せず、「私らしさ」で考えてみませんか？
 すべての人が輝く日々を送れるよう、だれもが住みよい男女共同参画社会をみんなでつくりましょう。

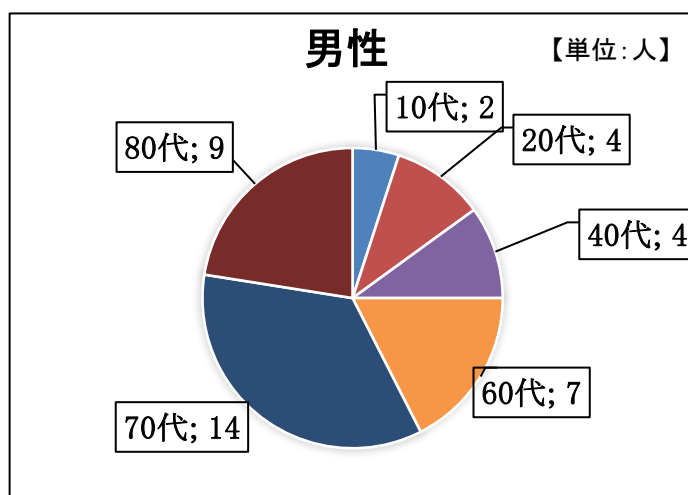
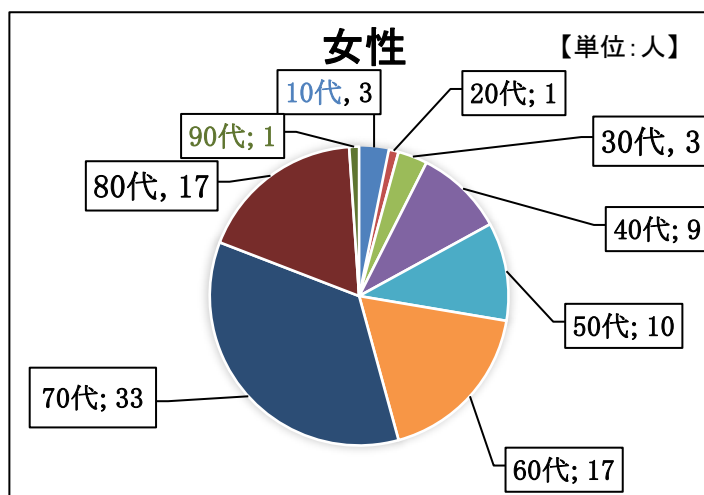
会場を出たところで回収いたします。ご協力ありがとうございました。

2025年度 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム 参加者アンケート結果

参加者数	233人
アンケート	141人

性別と年齢

	女性	男性	無回答	合計
10代	3	2		5
20代	1	4		5
30代	3			3
40代	9	4		13
50代	10			10
60代	17	7		24
70代	33	14	1	48
80代	17	9	1	27
90代	1			1
無回答			5	5
合計	94	40	7	141



お住まい

物集女	16
寺戸	64
森本	7
鶏冠井	5
向日	3
上植野	17
市外	22
無回答	7
合計	141

市外…長岡京市2、京都市14、宇治市2、枚方市2、記載なし2

1 今回のフォーラムをどのように知りましたか？（複数回答可）

広報むこう	46
公共施設でのチラシ	21
知人から	59
LINE	6
ホームページ	6
その他	18
合計	156

その他…大学1、元京都市右京区長の藤田氏のSNSより1、桂雀太さんのホームページ1、市役所1、回覧板2、琴の橋1、ピアッツァ1、三觜先生から1、近所のチラシ1、当人から1、団体から1、無回答6

2 この催しに参加された動機は何ですか？（複数回答可）

講師講演への興味	82
男女共同参画への関心	21
余暇の利用	29
その他	16
合計	148

その他・・・家族が行ったから1、大学授業の一環として1、知人のすすめ2、友人1、人権を考える機会1、配偶者のお供1、雀太さんが何を話すか気になる1、双極性障害の方のお話を直接聞きたかった1、無回答7

3 フォーラムについて
(1) 内容はいかがでしたか？

よかった	99
まあまあよかった	20
どちらともいえない	2
よくなかった	0
無回答	20
合計	141

(2) 新しい発見はありましたか？

あった	76
まあまああった	32
どちらともいえない	6
あまりなかった	0
無回答	27
合計	141

4 今後のフォーラムについてどのような催しを期待しますか？

5 その内容について（複数回答可）

		内容(自由記載)
講演会	59	今回のようなものを期待しています！！、もう一度お二人の話が聞きたいです、落語・プロスポーツのOBの講演、今回のように、講演会＋お楽しみイベントがあるとよいと思いました
映画	42	自主上映の映画など(社会派とか)・心が暖まる映画が見たいです
ワークショップ	9	講演会だけでなく。ワークショップも参加してみたいと思ったから
その他	6	コンサート、歌謡ショー、落語、選択的夫婦別姓の世界的状況が知りたい、まちづくりについて(自分が分かることと周りの人の理解が広がり向日市内どこへ行ってもわが町と感ぜられるよりよい向日市になればと思います。)、今回のような感じ
合計	116	

6 これまでの5年間で、男女共同参画や人権に関する講演会・研修会に参加されたことがありますか？

はじめて	62
1～2回	34
3～4回	16
5回以上	13
無回答	16
合計	141

7 イベントに参加して、男女共同参画や人権についての関心や理解は深まりましたか？

深まった	56
どちらかといえば深まった	43
変わらない	9
わからない	1
無回答	32
合計	141

8 向日市は個人や男女の人権が尊重された豊かな社会になっていると思いますか？

そう思う	15
どちらかと言えばそう思う	38
どちらかと言えばそう思わない	15
そう思わない	12
わからない	34
無回答	27
合計	141

2025年度自分らしく生きよう！いきいきフォーラム 当日アンケート自由記載項目

今回のフォーラムについて、ご意見・ご感想がございましたらお聞かせください。

1	初めて生落語を聞かせてもらいました。大変面白くて良かったです。48歳とは思えない貫禄でした。(70代・女性)
2	「寄りそいたい」という言葉がとても気に入っています。テーマのとおり今一度考え直したいと思います。(80代・女性)
3	時間が長く、でも最後まで聞いてしまった。(70代・女性)
4	実は主人も5月～9月の5ヶ月間そううつ病？みたいになりました。今回の講演にぴったりでうなづくことばかりでした。最後はほっとかしかしい。私もそうしました。(80代・女性)
5	私も70代半ば。自分らしく、楽しく、生きていこうと思います。(70代・女性)
6	双極性障害という病気についてわかりやすく身近に感じました。(50代・女性)
7	とても良い話を聞けました。知らないことも多くあったので。(80代・女性)
8	気楽に時間をすごすことができたのは、身近な内容を分かりやすく話される様が心地よかったからです。(70代・女性)
9	自分の頭の中では男女平等としていても、日常生活ではアレと男社会の考えがよぎる時があります。このフォーラムは、とても聴きやすく、納得できることが多かったです。(70代・女性)
10	はじめての参加で本日は多様性について桂さんの赤裸々なお話してくださり、いろいろと考えさせられ自分の価値観を他へおしつける事なくいろいろな考え方があるのだナ！と思い、なに事もいったんは受けれることが出来るよう生きていきたい。(60代・女性)
11	双極性障害の当事者の方に興味があり来ました。中味の濃いお話でした。三觜さんの進行もとても良かったです。多様性について意識しながら自分もまわりも自分らしく生きれたらと思います。(50代・女性)
12	進行も上手だったし、興味深く聞かせてもらいました。(80代・女性)
13	よかった。(80代・女性)
14	今まで本人に聞いたことがなかった、聞けなかったことを聞かせてもらいました。ありがとうございます。聞いて良かったです。(70代・女性)
15	大変興味深く良かった。三觜なつ美さんの質問もとても良かった。(70代・女性)
16	お話しごくおもしろかったです。双極性障害、友だちにいました。周囲の理解も大切だなと思いました。(30代・女性)
17	そううつ病(双極性障害)について知れて良かったです。(50代・女性)
18	難しい課題を落語家で優しく柔らかく説明されて結構でした。(80代・男性)
19	対談良かった。そううつ病の話も良かった。(70代・女性)
20	大変勉強になりました。(70代・女性)
21	質問の時間をもっと長くしてほしい。(70代・男性)
22	市長も面白い。(40代・女性)

23	生き方について参考になった。病気もプラスに考えると、まさに良いかな？(80代・男性)
24	トークでの「双極性障害」の話は初耳でとても良かった。三觜さんご苦労様でした(70代・男性)
25	初めて参加しましたが、とても参考になりました。(70代・女性)
26	とても有意義なトークで良かったです。(80代・女性)
27	多様性について考えました。(70代・女性)
28	桂雀太さんの人生観を聞かせていただいてよかった。いい話だったし面白かった。いきいきフォーラム実行委員会の皆様、おつかれさまでした。良い内容でした。(40代・男性)
29	とても有意義な楽しい会でした。三觜さんの進行、まとめ抜群でした。(70代・女性)
30	そううつ、うつなど精神病の方に体験等を聞くと、フラッシュバックにつながって良くないと聞いたことがあるのですが、雀太さんはそんな心配はありませんか？「寄り添い」というまとめはやや強引な気がしましたが、もう少し具体的な行動が示されるとよいかと思いました。(30代・女性)
31	改めて自分らしく生きていこうと思いました！！(70代・女性)
32	おちた時もいい。(50代・女性)
33	司会の方、三觜さん雀太さん、貴重な話をありがとうございました。(60代・男性)
34	雀太さんと三觜さんのトーク、とても面白かったです。すばらしい企画でした。(70代・男性)
35	病気は悪いことばかりじゃない。自分らしく生きるっていいことなんだと思い、感動しました。雀太さん、三觜さん素敵でした。(60代・女性)
36	とっても勉強になりました。(70代・女性)
37	楽しく笑えるお話しで良かったです。(60代・女性)
38	本日の落語のお題は何だったでしょうか？(70代・女性)
39	落語家さんの話が伝わりやすく、おもしろかった。もっとたくさんの方に聞いてもらえるよう、宣伝方法を考えてみては。(40代・女性)
40	とても考えさせられるよいお話を聞いて自分も病気を抱えていますが、気持ちが楽になりました。ありがとうございました。(40代・女性)
41	三觜さんがすばらしく上手でした！向日市市民として期待します！(60代・女性)
42	きいてはいけないこと、タブーとされていることと思ってました。知ることは大事なことだと思いました。(50代・女性)
43	多様性の時代・双極性障害の日常生活、のりきり方をくわしく解説してほしかった。(50代・女性)
44	対談とてもわかりやすく、ユーモアにあふれ良かったです。(70代・女性)
45	そううつ病の方を何人か知っているなのでその方々への対応の参考になりました。(記載なし)
46	構成といい、内容といい、とても良かったです。(70代・男性)
47	トークとってもおもしろかった。(80代・女性)

48	身近にうつの人があるので参考になりました。本心からのことは、自分の中にも不安になる事があるので、100%はもとめない。(60代・女性)
49	ありがとうございました。そううつくりかえし、大変でしょうが今日の落語たいへんよかったです。(60代・女性)
50	双極性障害についての理解がより深まった。(60代・男性)
51	双極性障害の発症の原因がわからない人も多いと聞いて、うつ病だけでなく、こちらの病気も自分が、家族がある日突然…ということもあるのだと知ることができてよかったです。ただ、なりやすい性格＝考え方があるのかも思いました。娘が完璧主義なので、私はこれまで通りいいかげんで逆にいいのかも(笑)落語まで楽しめて、本当にお得でした！ありがとうございました。(50代・女性)
52	そううつ病のことがよくわかった。落語を見るのも初めてだったのが面白かった。面白く、人権や多様性が学べて良かった。(40代・女性)
53	落語楽しかったです。トークもたのしく聞けました。(40代・女性)
54	新しい病気を知れてべんきょうになった。(10代・男性)
55	双極性障害を患う当事者の貴重な体験が聞けた。(20代・女性)
56	双極性障害について知ることができ、他者への考え方が深まりました。「どうせ死ぬなら、笑ってられるように」自分らしく生きていこうと思えました。ありがとうございました。(40代・男性)
57	そううつという病気があるのをしれた。(10代・男性)
58	雀太さんの自由トークをもっと聞きたかった。(60代・女性)
59	双極性障害についての具体的なお話、知っているようで知らない内容をお話いただいて、大変良かったです。(60代・男性)
60	今回トークと落語とてもよかったです。楽しくてためになりました。(60代・女性)
61	桂さんが双極性障害をもっているとは思えないくらいトークが上手でした。知らないうちに障害をもっている人に出ているのではないかと気づくことができました。これから人との関わりを大事にしたいです。(10代・女性)
62	ふれにくい題材かなと思っていたけどお二人の実話やおもしろい話をまぜてきけたので楽しく勉強させていただけました。うつやそううつについて興味があったので聞いてよかったです！(10代・女性)
63	多様性といいながら「不正解もあります」と結論されてて、多様性とはほど遠い考えだなと思った。不正解の人も含めて社会はなりたっていると思う。そううつ病をむりくり多様性にむすびつけようとされていて違和感はありませんでした。(記載なし)

その他気づいた点について

1	楽しい落語ありがとうございました。(60代・女性)
2	参加者が高齢の方が多いように思いましたが、もっと若い人に聞いていただきたい内容でした。もっと広報などすればどうでしょうか。(記載なし)
3	まだまだ人権には課題がいっぱいです。(70代・女性)
4	小中学校の女子トイレにトイレットペーパーと同じように生理用品を常備することが女子の人権を守ることと思います。特に男にその認識がないのが問題です。(70代・女性)

5	よい機会をありがとうございました。(40代・女性)
6	チェックの内容は自分的には理性的だが隠れた固定概念はあるのかもと不安。それこそが問題かなと思う。(70代・男性)
7	今日はとてもぜいたくな時間を過ごさせてもらいました。お二人の軽妙かつ深いトーク、とてもおもしろかったです。ありがとうございました。(30代・女性)
8	トークショー、落語共楽しかったです。(70代・女性)
9	若い人の参加もありよかった。落語もよかった。(60代・女性)
10	三鶯なつ美さん、外見もしゃべり方も、なるみさんとそっくりで、芸人さんみたいな先生で生徒たちも楽しそうですネ！スバラしかったです！！(60代・男性)
11	スタッフの方も出演のお二人もとても良かった。(60代・女性)

(注釈)原文のまま掲載しています。

「性別による固定的役割分担意識」チェックアンケート まとめ

実施日 : 令和7年12月6日(土)

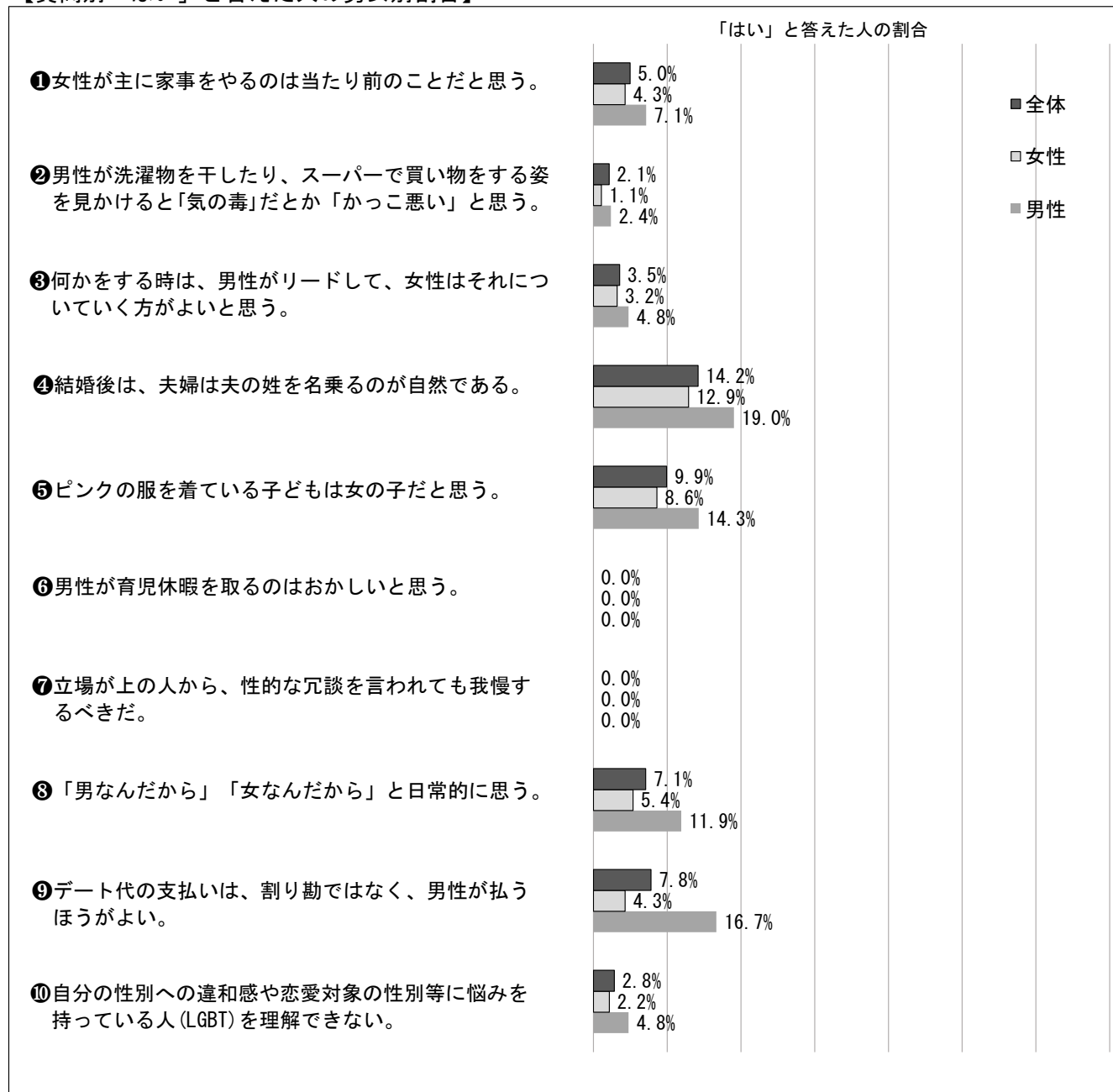
実施対象 : 2025年度自分らしく生きよう!いきいきフォーラム参加者

実施 : 自分らしく生きよう!いきいきフォーラム実行委員会

【回答者の年齢別・性別内訳人数】

性×年代別	女性	男性	無回答	合計
10歳代	3	2	0	5
20歳代	1	4	0	5
30歳代	3	0	0	3
40歳代	9	4	0	13
50歳代	10	0	0	10
60歳代	17	7	0	24
70歳代	33	14	1	48
80歳代	17	9	1	27
90歳代	1	0	0	1
無回答	0	0	5	5
合計	94	40	7	141
割合	66.7%	28.4%	4.9%	100%

【質問別「はい」と答えた人の男女別割合】



固定的性別役割分担意識チェックアンケート

まとめ結果について

- 回答の割合は、女性66.7%、男性28.4%と女性の割合が高くなっている。無回答は、4.9%となっている。
- 女性の場合、もっとも「そう思う」の割合が高かったのは、「④ 結婚後は、夫婦は夫の姓を名乗るのが自然である」(12.9%)であり、次いで「⑤ ピンクの服を着ている子どもは女の子だと思ふ」(8.6%)となった。
- 一方、男性がもっとも多く「そう思う」と答えたのは、「④ 結婚後は、夫婦は夫の姓を名乗るのが自然である」(19.0%)であり、次いで「⑨ デート代の支払いは、割り勘ではなく、男性が払うほうがよい」(16.7%)となった。
- 「そう思う」の割合が0%となったのは、女性、男性ともに、「⑥男性が育児休暇を取るのをおかしいと思う。」「⑦立場が上の人から、性的な冗談を言われても我慢すべきだ。」となった。
- 男性と女性の「そう思う」と答えた割合の差がもっとも大きかったのは、「⑨デート代の支払いは、割り勘ではなく、男性が払うほうがよい。」であり、その次に多かったのは、「⑧「男なんだから」「女なんだから」と日常的に思う。」であった。
- 「そう思う」の割合を男女で比較すると、全ての質問において男性の方が高くなっている。

性別による固定的役割分担意識チェックアンケートを通して、いろいろな意見を聞くことができ、意識啓発の良い機会となりました。これからも、自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会と向日市は、「男らしさ」「女らしさ」にこだわらず、一人一人が個人として尊重される社会をめざして活動を続けます。



パールリボン展



優しい時間(絵)

パールスタンド



パールカラーのつまみ細工



結びフェルトバッグ



幸せのリース



パールミヤクミヤク(おりがみ)



ジャケット (着物リフォーム)

ブラウス(着物リフォーム)



弥次郎兵衛(木工細工)

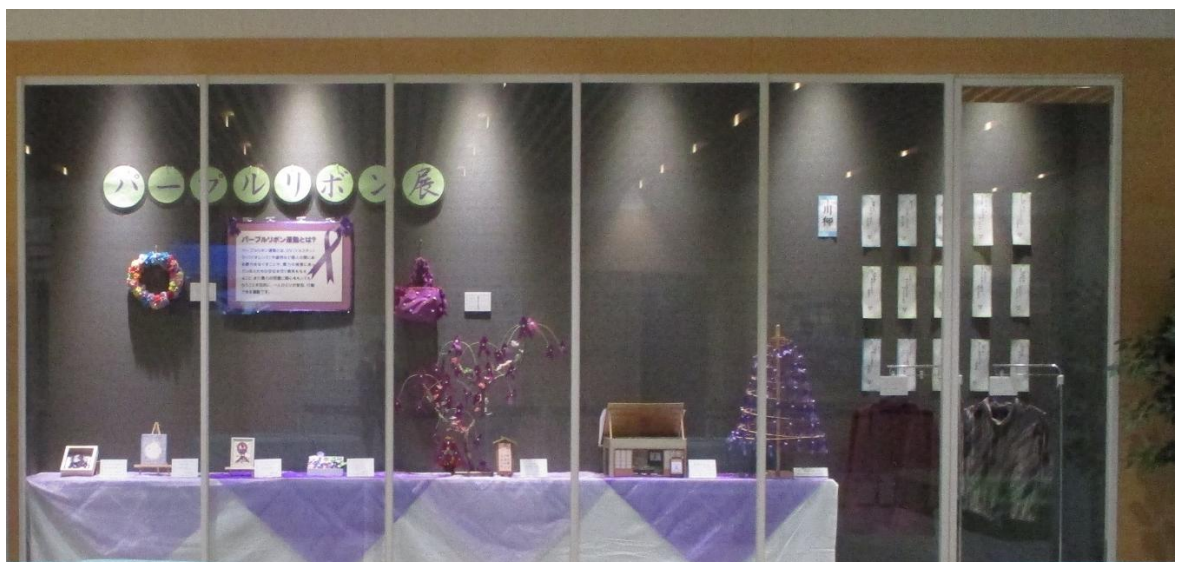


あったらいいな。助けを求めに来るお家(木工細工)

女性活躍センターあすもあ(令和7年11月11日~11月18日)



永守重信市民会館(令和7年11月29日~12月7日)



永守重信市民会館(令和7年12月6日)

- ・ 人権パネル展



- ・ かけはし登録団体の展示



No.	団体名
1	乙訓医療生活協同組合
2	ガールスカウト京都府第37団
3	NPO法人子育て支援ねこばす
4	新日本婦人の会向日支部
5	土と野菜作りの会「土のめぐみ」
6	つながろ CAFE
7	ビバ！セカンドライフ
8	ミンナソラノシタ
9	向日市食生活改善推進員協議会
10	向日女性防災研究所

人権パネル展は、自分らしく生きよう！いきいきフォーラム開催時におこない、参加者の方々の人権意識の高揚に寄与することができたと思います。

かけはし登録団体の展示については、10団体の応募があり、各登録団体の活動を紹介する掲示物（ポスター・写真・作品等）を設置しました。

～女性に対する暴力がなくなっしてほしいという想いを込めて

作品
募集

パープルリボン展

パープルリボンは、「女性に対する暴力をなくす運動」の国際的なシンボルマークです。このパープルリボンをモチーフにした、女性に対する暴力がなくなっほしいという想いが込められた作品を募集し、「パープルリボン展」を開催します。

募集内容

パープルに彩られたオリジナル作品～絵画、手工芸品など～

- 1人で持ち運びができるサイズ、重さのもの ●奥行 40cm 以下
- 映像・食品不可

◆**応募方法** 作品と応募用紙を直接、女性活躍センターあすもあへ持参してください。応募用紙は裏面です。市のホームページでもダウンロードできます。

◆**応募期間** 10月27日(月)～11月9日(日) 9時～17時
休館日の10月30日(木)、11月4日(火)、6日(木)は除く。

◆**展示日・場所**

・日時：11月11日(火)～11月18日(火) 9時～17時
休館日の11月13日(木)は除く。
場所：女性活躍センターあすもあ

・日時：11月29日(土)～12月7日(日) 9時～17時
場所：永守重信市民会館1階 ギャラリー

応募先

女性活躍センターあすもあ
向日市寺戸町中ノ段 16 番地の 7
電話 075-963-6532
FAX 075-963-6517



問い合わせ先

向日市ふるさと創生推進部広聴協働課
電話 075-874-1409
FAX 075-922-6587
メール kyodo@city.muko.lg.jp

ホームページ



Instagram



男女共同参画に関する川柳の展示



男女共同参画社会に対する様々な想いを5・7・5の17文字で自由に表現いただきました。全部で28通の応募がありました。

【場所・展示期間】

- ① 女性活躍センターあすもあ 掲示板（令和7年9月12日～10月5日）
- ② 永守重信市民会館 1Fギャラリー（令和7年11月29日～12月7日）

※自分らしく生きよう！いきいきフォーラムの前後に同時開催

【作品一覧】

1	女子たちが 金管鳴らす 甲子園 (ペンネーム 中塚 弘二)
2	子は悟る 甘いパパより 叱るママ
3	「手伝うよ」 その一言で ため息が
4	選ぶ夢 性別よりも 得意技
5	会議では 強気な彼も 皿は洗わず
6	イクメンと 呼ばれ持ち上げ やっとここまで
7	支え合い ところも時間も ゆとり増す
8	家庭での 名もなき仕事 シェアしよう
9	夏休み 家族みんなで 宿題す
10	化粧品 男女一緒に 買いに行く
11	家事仕事 肩を並べて 笑顔増す
12	子の寝顔 二人で見ると 嬉しいね
13	おむつ替え 代わりばんこ 親になる
14	手伝うね その一言より 共にやる
15	家事育児 シェアして家族 みな笑顔
16	家事介護 かわりばんこで もんくなし
17	可能性 あなたも私も 無限大
18	認め合う 互いの個性 ありのまま
19	アーケード 日傘男子が あふれてる
20	ささえあい 家事も仕事も 全員で
21	多様性 新たな未来の 可能性
22	異性との 合わないおもい すれ違う
23	性別で 線を引かずに 活かす力
24	直帰して えっほえっほと パパ育児 (ペンネーム 東 拓哉)
25	幼稚園 ぱぱのはなうた 披露する子 (ペンネーム 東 拓哉)
26	汗だくで 夫婦会議も 温暖化
27	おもいやる ところにだんじょ くべつなし
28	防災も ジェンダーフリーで 強くなる

主催：向日市

令和7年度 男女共同参画作品 川柳募集



家庭、職場、地域等の身近な暮らしの中でみられる男女共同参画に関する内容の川柳を募集します。日頃の疑問や気づき、感じたこと等を川柳にしてお寄せください。皆さんの作品をお待ちしております♪

応募締切
8月29日(金)
まで

応募方法

- ・川柳、氏名、ペンネーム（希望者のみ）、連絡先を持参、郵送、FAXのいずれかで下記提出先にご提出ください。
- ・様式は問いません。
- ・職員が清書（印字）し、展示します。



作品について

- ・未発表作品に限ります。作品の応募数は1人1作品まで。
- ・9月8日（月）から各イベント等で展示します。
- ・作品は、市の印刷物やホームページ等において掲載する場合があります。
- ・作品の著作権は向日市に帰属し、作品は返却しません。
- ・テーマからかけ離れた内容の作品は展示しません。

過去の作品

パパと行く！
察しが良い子よ
母休む
○
○
○
○



提出先

女性活躍センターあすもあ
〒617-0002
向日市寺戸町中ノ段16番地の7
TEL:075-963-6532
FAX:075-963-6517



ホームページ インスタグラム

問合せ先

向日市ふるさと創生推進部広聴協働課
TEL:075-874-1409
FAX:075-922-6587
メール:kyodo@city.muko.lg.jp



～実行委員の思い～1年間を振り返って～



いつもありがとうございます。

4月からの会議で今迄と違った感じに戸惑いについていけるのかと心配がありました。何とか皆様の役に立つようにと考えて来ましたが解らないことや理解できない事も多く有りました。

多くの人達が来場して頂き私自身も1人の視聴者として参加出来た気がします。また、新しい勉強をさせていただきました。

障がい者の人達との接触の仕方や性に関する事など、今後いろいろの方達と関わりがあるので役に立てたいと思います。ありがとうございました。





今年のいきいきフォーラムは、対談形式でお二人（雀太さんと三觜さん）の会話を会場の皆さまが引き込まれていく様子を感じられました。

例年より若い人が多く来てくださり、世代を超えて楽しく学ぶ時間を持てた事は大変良かったと思います。落語も楽しく沢山笑わせてもらいました。

私自身はいきいきフォーラムの実行委員になった事で、日々人権や男女平等について考える事が増えました。

実行委員にならなければ、ダイバーシティ（多様性）という言葉が口にする事も無かったのではと思います。私たちの一人一人が、今回のテーマのように多様性を自分ごととして捉え、自分と違っていても寄り添い合える、そんな社会にそんな向日市になることを望みます。

ありがとうございました。





長年フォーラムの実行委員を務めておりますが、今回は初となる対話形式の試みで、非常に新鮮な経験となりました。

桂雀太さんのお話を伺い、誰もが「生きづらさ」を抱えうるからこそ、それを認め合い、共に暮らせる社会を築く大切さを改めて痛感しました。その土台となるのは、やはりコミュニケーションではないかと思います。

「知らない」ことが無意識の差別に繋がる危うさを心に留め、ダイバーシティ社会の実現に向けて、まずは互いを「知る」一歩から踏み出していきたいと思います。





間もなく新年度を迎えますが、この1年間有意義に過ごすことができ感謝しております。このように楽しく過ごせたことは、決してイエス・マンではありませんね。

そして実行委員は、委員を引き受けた時点から同じ権利・義務が発生します。それゆえに全ての会員が平等になります。

人間は、あまねく考えが違うことが、多々ありますね…。当然のことと思います。しかし、相手の話をよく聴く、同時に自分の考えも聴いてもらう、これが公平であり、肝要と思います。同時に目的に向かって常に建設的であることが最も大切なことでしょう。実行委員の発言に遠慮は禁物です。これからも元気に前を向いて発言しませんか。

さて、最後になりましたが、事務局の皆さまには大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。





今年度より新規で実行委員として加わりました三觜（みつはし）なつ美と申します。私にとって、このフォーラム実行委員会が毎月1度開かれることがとても楽しみになっていました。以前からおられるベテラン実行委員の皆さんや向日市広聴協働課の皆さんと切磋琢磨した道のりは、私自身の向日市「愛」に気づく時間にもなりました。

そして、今回は落語家の桂雀太師匠と対談させてもらうような形で登壇させていただいたことを心から感謝しております。雀太師匠がとても話しやすく進めてくださったので、私も一人のお客さんのような気持ちで、セッションさせていただきました。

私は、普段から、中学校教諭として現場で働いておりますが、それ以外にも「性教育」の講演活動をさせていただいております。4人の子供と1人の里子を育て、中学校の生徒たちと毎日ふれあう中で、性教育の重要性を痛感し、5年前から、支援団体、学校法人、保育園などで活動させていただいております。この活動は、今回の「ダイバーシティ（多様性）と寄り添い社会」と直結していると言っても過言では無いほどに、人権尊重がベースとなり、自分らしく生きよう！というメッセージがあります。

今年初めてこの会に参加し、率直に思ったことは、「もっとたくさんの方々に来てほしい」ということです。来年度は、もっと広報に力を入れて、お伝えしていきますので、ぜひ皆さんの口コミでのご協力もよろしく願いいたします！！また12月にお会いしましょう！！





今年度の講演会は、今までとは異なる形式で行われて、すごく活気あふれる講演会になり、とってもよかったです。

雀太さんをご病気について、明るくお話してくださったので、ご病気を抱えながら生活されている方が勇気づけられていたらいいなあと思いました。

ご病気についても、わかりやすく話ししてくださったので、つらい思いをされてる方に寄りそうことができたらいいいなあと思いました。

先日、知人が病気のためにニット帽をかぶらないといけなくなり、上司に相談したところ、ダメです、ウィッグにしてくださいと言われたそうです。多様性が進んでる時代に残念なことです。もっともっと、過ごしやすい社会にしないといけないと感じました。



2025年度 自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会 年間の流れ

日程 (原則第3水曜日)		場所	内容
第1回	4月16日 (水)	女性活躍センターあすもあ	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 男女共同参画施策について フォーラムの企画について
第2回	5月21日 (水)	女性活躍センターあすもあ	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムの講師案について
第3回	6月18日 (水)	女性活躍センターあすもあ	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムの講師、講演内容について
第4回	7月16日 (水)	女性活躍センターあすもあ	<ul style="list-style-type: none"> 講師、テーマ、講演内容について
第5回	9月17日 (水)	女性活躍センターあすもあ	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムの男女共同参画のテーマ決定について チラシについて
第6回	10月15日 (水)	女性活躍センターあすもあ	<ul style="list-style-type: none"> フォーラム当日の進行、役割分担について
第7回	11月19日 (水)	女性活躍センターあすもあ	<ul style="list-style-type: none"> 決定事項の確認と店舗前啓発について 性別による固定的役割分担アンケート(案)
第8回	12月3日 (水)	女性活躍センターあすもあ	<ul style="list-style-type: none"> フォーラム最終調整 クリスマスツリー展示について
	12月6日 (土)	☆自分らしく生きよう！いきいきフォーラム	
第9回	1月14日 (水)	女性活躍センターあすもあ	<ul style="list-style-type: none"> フォーラム総括 フォーラムのアンケート集計結果について 性別による固定的役割分担アンケート結果 記録集の作成について
第10回	2月18日 (水)	女性活躍センターあすもあ	<ul style="list-style-type: none"> 記録集の作成について 来年度講師案について
第11回	3月18日 (水)	女性活躍センターあすもあ	<ul style="list-style-type: none"> 記録集の完成について 今年度の振り返り

キーワード



ジェンダー（社会的性別）

人間には生まれつきの生物学的性別（セックス／sex）があります。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性・女性の別を「社会的性別」（ジェンダー／gender）といいます。「社会的性別」はそれ自体の良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われています。



SOGI（ソジ）

Sexual Orientation（セクシュアル・オリエンテーション） and Gender Identity（ジェンダー・アイデンティティ）

の頭文字のことで、性的指向/性自認のことをいいます。性における属性を意味しており、すべての人が持っています。

※性的指向…人の恋愛・性愛がいずれの性別を対象とするかを表すものであり、具体的には、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛を指します。

※性自認…自分の性別をどのように捉えるかを指し、「こころ」の性別ともいわれます。生まれつきの身体の性とは異なる性自認で生活をしている方もいます。



LGBTQ+（エルジービーティーキュープラス）

Lesbian（レズビアン）…女性同性愛者

Gay（ゲイ）…男性同性愛者

Bisexual（バイセクシュアル）…両性愛者

Transgender（トランスジェンダー）…生まれた時の生物学的性と性自認の同一性に違和感を持つ人

Questioning（クエスチョニング）…自身の性について、特定の枠組みに属していない人や、わからない、まだ決定していないなどの状態の人

Queer（クィア）…性的マイノリティを包括してとらえる言葉。かつては侮蔑的な言葉として用いられていましたが、現在では、多様なマイノリティをつなぐ語として肯定的に用いられています。

+（プラス）…多様な性で、上記以外にカテゴライズされない人

性的指向や性自認は（SOGI）は、性的少数者（LGBTQ+）だけでなく、すべての人が共通して持っている属性で、一人ひとり異なる性のあり方があるという考え方を示す言葉として、近年広く用いられるようになってきています。



固定的性別役割分担

男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。

「男は仕事・女は家庭」「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等は固定的な考え方により、男性・女性の役割を決めている例です。



SDGs（エスディーゼズ 持続可能な開発目標）

2015年の国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための17の目標から成る国際目標であり、誰一人取り残さない社会を目指しています。SDGsは、経済・社会・環境の各分野の課題について総合的な解決を目指すものです。

目標5に「ジェンダー平等を実現しよう」が掲げられています。



エンパワーメント

立場の弱い人が主体的に社会と関われるように力をつけ、自分自身の生活や環境をコントロールできるように支援することを意味します。

もともと「エンパワー（empower）」という言葉には「能力や権限を与える」という意味があります。エンパワーメントが概念として普及したのは、20世紀にアメリカで起こった、先住民族や女性、マイノリティーの自立を促す活動の中でのことでした。

SDGsにおける17の目標全てにおいて、女性は重要な役割を担う存在と考えられています。そのため、SDGsでは女性をエンパワーすることが課題とされてきました。世界を見渡せば、女性は差別や暴力を受けたり、教育の機会が与えられなかったりするなどして、男性より下の存在とみなされている場面が多々あります。女性へのエンパワーメントは、人々が平等に権利を享受し、主体的な生活を送り、自己実現するために欠かせない考え方です。



ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

個人が仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児をはじめとする家族形成のほか、介護やキャリア形成、地域活動への参加など、個人や多様なライフスタイルの家族がライフステージに応じた希望を実現できるようにすることをいいます。



ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

様々な分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものであり、個々の状況に応じて実施していくものです。

積極的改善措置の例としては、国の審議会等委員への女性の登用のための目標の設定や、女性国家公務員の採用・登用の促進等が実施されています。



ハラスメント

主なハラスメントとして以下の5点が挙げられます。

○セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）

他者が嫌がっているにも関わらず、性的な嫌がらせをすることです。女性が被害を受けるイメージのあるセクハラですが、近年では男性が被害を受けることもあります。

○パワーハラスメント（パワハラ）

同じ職場で働く人に対して、職務上の地位などの優位性をふりかざし、業務範囲外で精神的・身体的な苦痛を与えることです。

○マタニティ・ハラスメント（マタハラ）

妊娠・出産・子育てに対して嫌がらせを受けるなど、女性に向けたハラスメントがマタハラです。マタハラは法律で禁止されており、企業に防止措置が義務付けられています。

○パタニティ・ハラスメント（パタハラ）

男性の育児休業制度利用等の育児参加に対する嫌がらせをすることです。

○モラル・ハラスメント（モラハラ）

言葉や態度、身振りや文書などによって、人間の人格や尊厳を傷つけたり、肉体的、精神的に傷を負わせることです。



ドメスティック・バイオレンス（DV）

夫婦や恋人などの親しいパートナー間で行われる暴力のことで、その多くは男性から女性に振るわれています。殴る、蹴るなどの身体的暴力だけでなく、精神的暴力や性的暴力、社会的暴力、経済的暴力、子どもを巻き添えにした暴力※なども、DVに含まれます。（※子どもの前でふるわれる暴力は児童虐待にあたりとされています。）



配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（配偶者暴力防止法）

配偶者からの暴力に係る通報、相談、保護、自立支援等の体制を整備することにより、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図ること等を目的とし、平成13年（2001年）に議員立法で成立した法律です。令和5年に法律の一部が改正され、令和6年4月1日から施行されたことに伴い、保護命令制度が新しくなりました。



パープルリボン運動

1994年にアメリカで始まった女性に対する暴力根絶の運動です。DVや虐待など、個人間にある暴力をなくすことや、暴力の被害にあっている人たちの安全を守り、勇気を与えること、また暴力の問題に関心を持ってもらうことを目的に、一人一人が参加、行動できる運動です。



リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念で、今日、女性の人権の重要な一つとして認識されるに至っています。リプロダクティブ・ヘルス/ライツの中心課題には、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全で満足のいく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどが含まれており、また、思春期や更年期における健康上の問題等生涯を通じての性と生殖に関する課題が幅広く議論されています。

近年は、性を強調する点から「セクシュアル・アンド・リプロダクティブ・ヘルス・ライツ Sexual and Reproductive Health Rights」SRHRと言われることも多い。SRHRは、2000年に国連が提起した<ミレニアム開発目標>と、その後の<持続可能な開発目標 SDGs>において、重要な達成目標のひとつである。SRHRは貧困・福祉・教育・ジェンダーなどの複数の問題によるため、その解決が目標達成にむかうことであると考えられています。



女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約（女性差別撤廃条約）

1979年、国連で生まれた女性差別撤廃条約は、あらゆる分野で、女性が性に基づく差別を受けない権利と平等の権利を保障しています。目指すのは、「男らしさ」「女らしさ」の呪縛から解放されて、誰もが性別にとらわれず自分らしく生きること、法律や規則の

なかの差別はもちろん、社会慣習・慣行の中の性差別をなくすことも求めています。1985年、日本はこの条約を批准し、条約批准国は189か国（2024年9月現在）となっています。



女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約の選択議定書

女性差別撤廃条約制定から20年を経た1999年、条約の実効性を強化し、一人ひとりの女性が抱える問題を解決するために、あらためて採択されたのが女性差別撤廃条約選択議定書で、それには「個人通報制度」と「調査制度」の2つの手続きがあり、それらを利用するには、批准が必要で、批准国は115か国（2024年）となっていますが、日本はまだこれを実行していません。向日市では、2022年3月の定例議会で、女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書を全会一致で可決しました。

向日市男女共同参画推進条例

平成18年3月27日 公布

向日市条例第 1号

目次

前文

第1章 総則(第1条―第9条)

第2章 男女共同参画の推進に関する基本的施策(第10条―第19条)

第3章 向日市男女共同参画審議会(第20条)

第4章 雑則(第21条)

附則

我が国では、日本国憲法において個人の尊重と法の下での平等がうたわれ、男女平等の実現に向けた様々な取組が「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」を軸とした国際社会の動きと連動して進められ、男女共同参画社会の実現を21世紀の我が国社会を決定する最重要課題として位置付けた男女共同参画社会基本法が制定されました。

向日市では、第4次総合計画において、まちづくりの主要課題に男女共同参画の推進を掲げ、また、「男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現に向け、総合的に取り組んできました。

しかし、現実には人権侵害や性別による固定的な役割分担意識、それに基づく社会の制度、慣行等が様々な分野で根深く存在しており、個人としての自由な活動や生き方の選択を妨げる要因となっています。

すべての市民一人ひとりの人権が尊重され、家庭、学校、職場、地域等あらゆる場において、男女が支え合い、お互いの存在を高め合い、多様な生き方を認め合って、誰もがいきいきと暮らすことのできる向日市を目指し、市、市民及び事業者が協働して男女共同参画社会の形成を総合的に進めるため、この条例を制定します。

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、男女共同参画の推進に関し、基本理念を定め、市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、男女共同参画の推進に関する市の施策の基本事項を定めることにより、男女共同参画を総合的かつ計画的に推進することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 男女共同参画 男女が、社会の対等な構成員として、個性と能力を十分に発揮し、自らの意思により社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべきことをいう。
- (2) 積極的格差是正措置 社会のあらゆる分野における男女間の格差を是正するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、積極的に格差是正の機会を提供することをいう。
- (3) 市民 市内に在住する者、在学する者及び在勤する者並びに市内で活動する者をいう。

- (4) 事業者 公的であると私的であるとを問わず、又は営利であると非営利であるとを問わず、市内において事業を行うものをいう。
- (5) セクシュアル・ハラスメント 相手の意に反する性的な言動により相手方の生活環境を害すること又は相手の意に反する性的な言動に対する相手方の対応によってその者に不利益を与えることをいう。
- (6) ドメスティック・バイオレンス 配偶者など親密な関係にある男女間の身体に対する暴力又はこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動をいう。

(基本理念)

第3条 男女共同参画の推進は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

- (1) 男女が個人としてその尊厳が重んじられ、性別による差別的取扱いを受けることなく、個人として能力を発揮する機会が確保されるべきこと。
- (2) 社会における制度又は慣行が、男女の社会における自由な活動の選択を阻害することがないように配慮されるべきこと。
- (3) 男女が、社会の対等な構成員として、市の施策又は民間の団体などにおける方針の立案及び決定に共同して参画する機会が確保されること。
- (4) 家族を構成する男女が、相互の協力と社会の支援の下に、家事、子の養育、家族の介護などの家庭生活における活動について家族の一員としての役割を円滑に果たし、かつ、自らの意思に基づく職業生活その他の社会活動と両立できるようにすること。
- (5) 男女が、互いの性についての理解を深め、妊娠又は出産に関する事項について双方の意思が基本的に尊重されることが及び生涯を通じて健康な生活を営むことができるようにすること。
- (6) 男女共同参画の推進に関する国際社会の取組と協調して行われること。

(市の責務)

第4条 市は、前条に定める基本理念(以下「基本理念」という。)のっとり、男女共同参画の推進に関する施策(積極的格差是正措置を含む。以下同じ。)を総合的に策定し、及び実施しなければならない。

2 市は、男女共同参画の推進に当たり、国、府及び他の地方公共団体と連携を図るとともに、市民及び事業者と協働して取り組むものとする。

3 市は、男女共同参画の推進に関する施策を実施するために必要な体制を整備し、及び財政上の措置を講ずるよう努めなければならない。

(市民の責務)

第5条 市民は、基本理念ののっとり、家庭、学校、職場、地域社会等のあらゆる分野において、自ら積極的に男女共同参画を推進するよう努めなければならない。

2 市民は、市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力するよう努めなければならない。

(事業者の責務)

第6条 事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動を行うに当たっては、男女が対等に参画する機会の確保に別紙1努めるとともに、子の養育、家族の介護その他の家庭生活における活動及び職業生活などの活動が両立できる職場環境の整備に努めなければならない。

2 事業者は、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(昭和47年法律第113号)その他男女共同参画に関する法令を遵守するとともに、その事業活動に関し男女共同参画の推進に努めなければならない。

3 事業者は、市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力するよう努めなければならない。

(性別による権利侵害等の禁止)

第7条 何人も、直接的であると間接的であると問わず、性別を理由とする権利侵害及び差別的取扱いを行ってはならない。

2 何人も、職場、学校、地域その他のあらゆる場において、セクシュアル・ハラスメントを行ってはならない。

3 何人も、個人の尊厳を踏みにじるドメスティック・バイオレンスを行ってはならない。

(教育における男女共同参画の推進)

第8条 何人も、生涯にわたる学習機会において、一人ひとりの個性と人権を尊重されなければならない。

2 家庭教育、職場教育、学校教育、社会教育その他のあらゆる分野の教育に携わる者は、基本理念に配慮した教育を行うよう努めなければならない。

3 何人も、次代を担う子どもたちの男女共同参画に関する教育に関し、積極的に参画するよう努めなければならない。

(情報に関する留意)

第9条 何人も、情報を公衆に表示するに当たっては、性別による固定的な役割分担及び男女間における暴力的行為を連想させ、又は感情を著しく刺激する性的な表現を行わないよう配慮しなければならない。

第2章 男女共同参画の推進に関する基本的施策

(基本計画)

第10条 市は、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、男女共同参画に関する基本的な計画(以下「基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 基本計画の策定に当たっては、市民及び事業者の意見を反映させるとともに、向日市男女共同参画審議会の意見を聴かなければならない。

3 市は、基本計画を策定したときは、速やかに公表するものとする。

4 前2項の規定は、基本計画の変更について準用する。

(施策の実施等に当たっての配慮)

第11条 市は、その実施する施策の全般にわたり、男女共同参画の推進に配慮するものとする。

(年次報告)

第12条 市長は、毎年、男女共同参画の推進に関する施策の実施状況等を取りまとめ、公表するものとする。

(附属機関等における委員の構成)

第13条 市は、附属機関等の委員を任命し、又は委嘱するときは、男女のいずれか一方の委員の数が、総数の10分の4未満とならないよう努めなければならない。

(拠点施設)

第14条 市は、男女共同参画に関する施策を実施し、市民による男女共同参画の取組を総合的に支援するための拠点施設の整備に努めるものとする。

(調査研究)

第15条 市は、男女共同参画の推進に関し必要な調査研究を行うものとする。

(市民及び事業者の理解を深めるための措置)

第16条 市は、市民及び事業者が男女共同参画に関する理解を深めるため、あらゆる機会を通じて、情報の提供及び広報活動を行うとともに、教育、学習機会の提供その他必要な措置を講ずるものとする。

(市民及び事業者に対する支援)

第17条 市は、市民及び事業者が行う男女共同参画の推進に関する活動を支援するため、これらのものとの連携及び協働に努めるとともに、情報提供等必要な措置を講ずるものとする。

(苦情への対応)

第18条 市長は、市が実施する男女共同参画に関する施策又は男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策について、市民又は事業者から苦情の申出を受けた場合は、適切な措置を講ずるものとする。

2 市長は、前項の申出への対応にあたり、必要に応じて向日市男女共同参画審議会の意見を聴くものとする。

(相談への対応)

第19条 市は、男女共同参画の推進を阻害する要因によって人権が侵害された場合の被害者の相談に対応するため、関係機関との連携を図り、適切な措置を講ずるよう努めるものとする。

第3章 向日市男女共同参画審議会

(男女共同参画審議会の設置)

第20条 男女共同参画の推進に関する重要事項を調査審議するため、向日市男女共同参画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

2 審議会は、第10条第2項及び第18条第2項に規定する事項のほか、市長の諮問に応じ、男女共同参画の推進に関する事項を調査審議する。

3 審議会は、委員10人以内で組織し、男女のいずれか1方の委員の数は、委員総数の10分の4未満であってはならない。

4 委員の任期は、2年とし、再任されることを妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前各項に定めるもののほか、審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

第4章 雑則

(委任)

第21条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に策定されている向日市男女共同参画プランは、第10条第1項の規定により策定された基本計画とみなす。

男女共同参画社会とは

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会

(男女共同参画社会基本法第2条)

自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員

「自分らしく生きよう！いきいきフォーラム」は、向日市男女共同参画プランに基づき、人権尊重、男女共同参画社会の実現をめざし、誰もが共に考える場として毎年開催され、1994年度からは、市民参画のため実行委員会形式がとられています。


実行委員は、毎月1回、委員会を開いて、男女共同参画の現状や意識改革、また人権の尊重について学習しながら、フォーラムの企画を行っています。

自分らしく生きよう！いきいきフォーラムの「自分らしく生きよう！」とは「男女、女男を超えて」という思いを込めて付けられた名前です。



家里 和代
川阪 宏子
多田 久美子
田中 初子
能地 あけみ
三觜 なつ美
(50音順)

※講師 桂 雀太様とともに



主催
自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会、向日市
共催
山城人権ネットワーク推進協議会

編集・発行／自分らしく生きよう！いきいきフォーラム実行委員会
問い合わせ／向日市ふるさと創生推進部広聴協働課

〒617-8665

京都府向日市寺戸町中野20番地

TEL (075) 874-1409

FAX (075) 922-6587